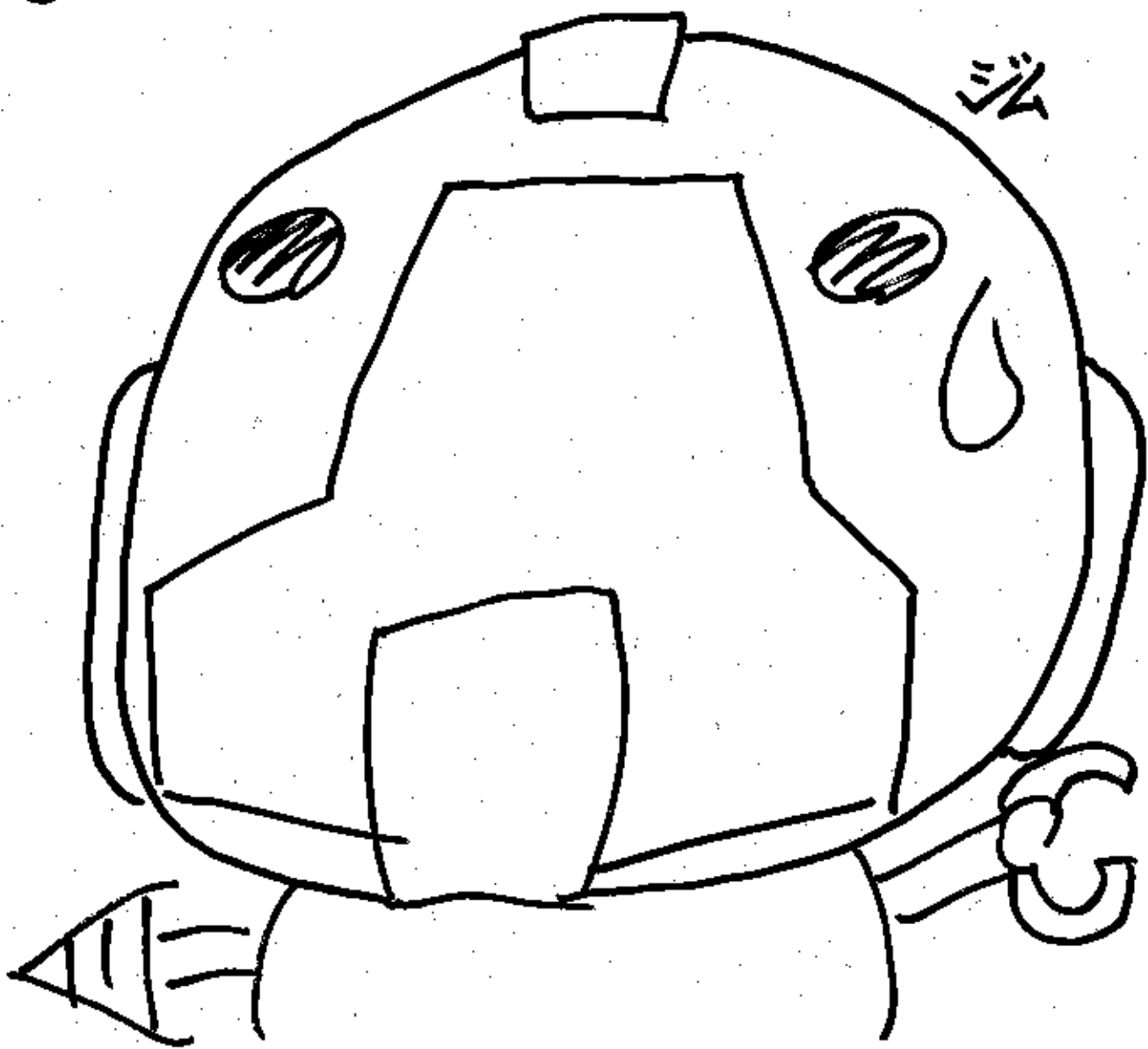


な And わ



465号

# 目次

長芋掘り	---	高橋 佑弥
収穫の記録	---	三上 統史
11月	-----	工藤 諒平
手紙	-----	川田 将司
11月	-----	原田 信史
今年度の作付	---	福工 珠
農家2年目	-----	山田 天人
大豆	-----	黒滝 尚久
作業の毎日	-----	山谷 慎治

# 長芋掘り

高橋 佑弥

今は長芋掘りをやっています。さすが中々苦戦しています。

雨が多く、作業する日が少ない

のでスムーズに仕事が進まない。また、

今年はずせが長芋の長さが

大きく、一本一本掘るのいところも

かを使います。それでもなんとか

命と削りながら掘りつけ、後

2日で終る事ができそうです。

大変なかりに長芋の収穫は  
かなり良いので満足しています。  
それが終わったらゴボウと白カブを  
掘り、今年の収穫は終了です。  
頑張ってください！

収穫たくさんしました

### 三十一 続史

八月からねぎを出荷して

きました。高湿で思ったよ

うな品質ではなかったですが

なんとか持ちこたえまされた。

十一月まで出荷しなければ

いけないので、雪が降らな

ことを願っています。

つけをしました。十月後半まで

かがてしまいました。春に元氣

な芽を見るのが楽しみです。

近年は予想できない

氣候が続いているので、それに

耐えられる土作りをしなければ

と思いましたが。

日々勉強だと思つて頑張リ

たいと思います。

九月から、にんにくの植え

11月

工藤涼平

作業にむけ順々

に進みなんとかです

11月はなにかと雨は

かりびなかなか仕事

かはかどりません。

もう2週間ありま

すが夕日にむけて

作業を進め事故

かかかたよりとどう

にかんぱりたり

です

九月は稲刈りが早

おかげでその他作業が

おもしろい他捗りま

した。十月は片付け

かなかなか進みます

11月3日と手こ

すりまりました。用心の

ほうつはこれか

の出しは

手伝い

川田将司

収穫の時はシルバー

6人、7人でやっている。

10月未かからブロッコリー 私は主に収穫した

の収穫、#何作りののを出して軽トラに

作業をやっている。積んでいる。入れてい

収穫は朝6:00か するのはコンテナだがえ

らが最近は6:30から 人なに重いと思った

やっている。朝6:00か 事はない。出刃包丁

りの時け明了いと見え 手で収穫している。足や

るんですが暗いと見え 手を切れないように

えなない時もあります。 気をつけて頑張りたい。

十一月

原田信史

冬のバイトも始まり、一年

の終わリも見えてきましたか、

二〇二三年も早かったですねえ。

毎年言ってますが一年が早い

ですわええ。今年もまた農

業とバイトの合間に旅行

行きたかったなあ。安、近、短

で一人でぶらぶらとリフレッシュ休暇

とりたかったなあ。

来年の三月までは必ず旅  
に出てリフレッシュするんだ。

そのためにお金を貯めて  
備えておきましょう。

雪降らないといいなあ。

来年の三月からはまた農  
業がかります。

エイエイオー。

今年度の作付け

福士瑛

今年度は猪鼻百にやう

みんなの作物への

影郷音がたくさん

あった。

もちろん自分

の作ってこころに

トトトトにもとて

悪い影郷音をおよぼ

した。収量は減ったが

値段もいつもの倍

くふくふしていったため

なんとか経営への影

郷音は少なかつた。

これから先もいままどの

農業では通用しない

ていふところだ。田舎の

まきえなむらむらめ



農家二年目

山田天人

もらった。特に大豆生産組合

として判り取り代付もするの

初めまして。今年夏から

は、家のお取りとは遠い

田には加わりました。昨年

は、アレッツォーを忍びながら来

前職も退職し家業を継い

います。まだまだまだペーパーの

て二年目になりまう。作付

身、大先辨方にご教示願え

は未、大豆で今現在は大豆

なばら一人前になれる様

の判り取り作業中です。

これからの頑張っ、いこうと

右も左も分からないうちは

思っています。田力もこれから

遠い今年は今頃も覚え

よろしくお願ひします。

機械に乗る事が多くなり

# 大豆

黒滝尚矢

畑に入ります。まだ刈取が終わり

ていません。

早く終われるように雨がふ

大豆の刈取と選別

うたいがはしにびす。

をしつにます。

たいぶさむくたつてあひもふて

今年の大豆は収穫が

きついろのでたすま度も早く

多くてよかったです。

しないともなと思つています。

しかし雨が続いてはなかな

今年ももう少しで終わります

わ。

# 作業の毎日

山谷 慎治

秋から冬近くにかけて色んなことがあった。まず夏野菜の収穫が早く終わり、自分の周辺では九月の<sup>畑</sup>まりと同時に

行われた。父の話によると、全体的に質が良くなる、ほとんど二等米らしい。現在新米を食べているが、昨年よりはましという感じだ。

猛暑が終わり、放送で熊の目撃手があった中、自分はねぎの収穫を行っている。収穫から調整の毎日、他の人などの情報が入らないうえ、太めのねぎは多いと思う。試験品種で色の違う野菜はあるが、<sup>品質</sup>が受け入れやすいのだろうか。

# 編集後記

インフルエンザが最近増えているので気を  
つけましょう。

農作業事故がないようにお世はず元張  
りましょう。

## 本日の参加者

高橋佑弥

福土瑛

三上統史

山田天人

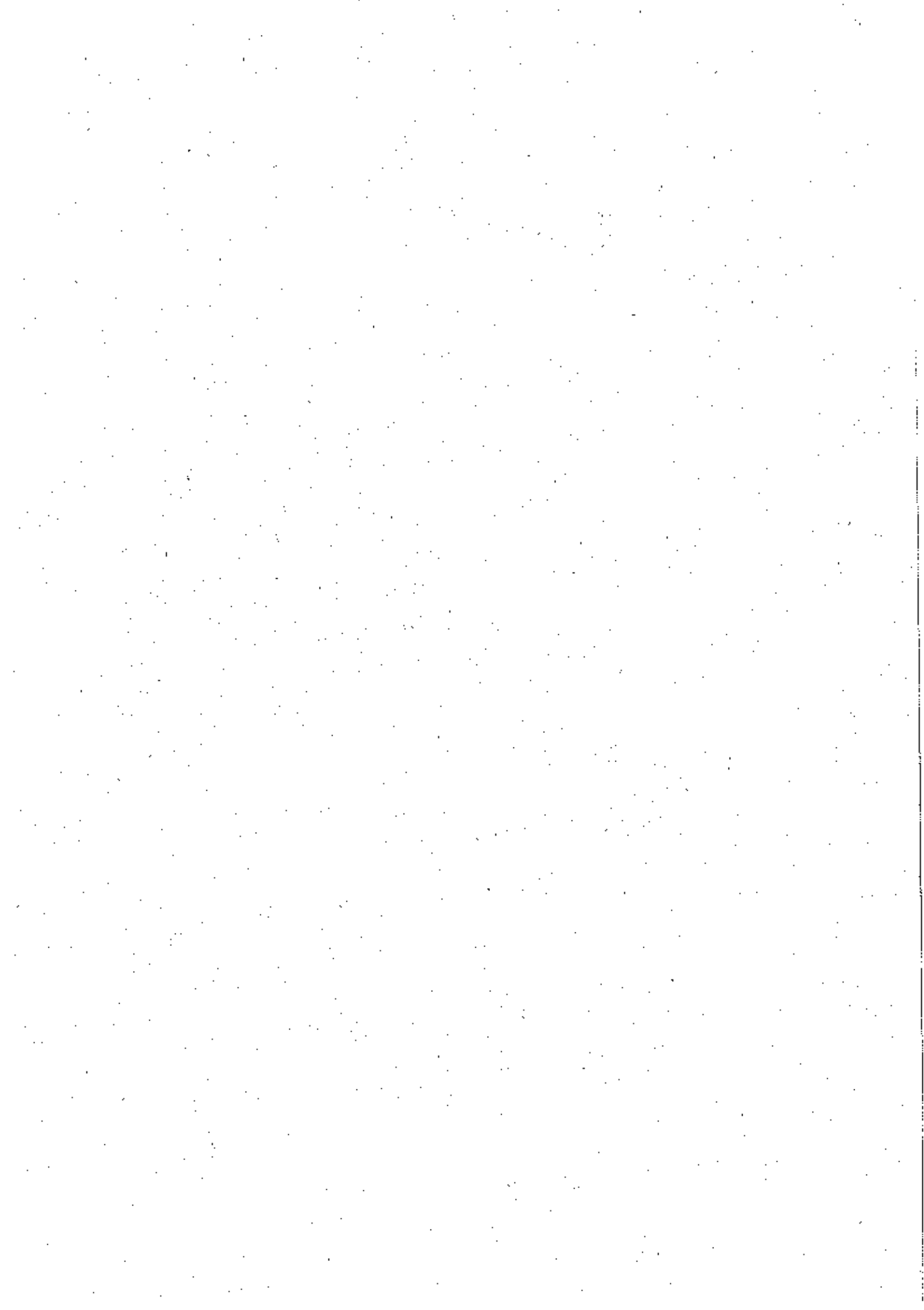
工藤涼平

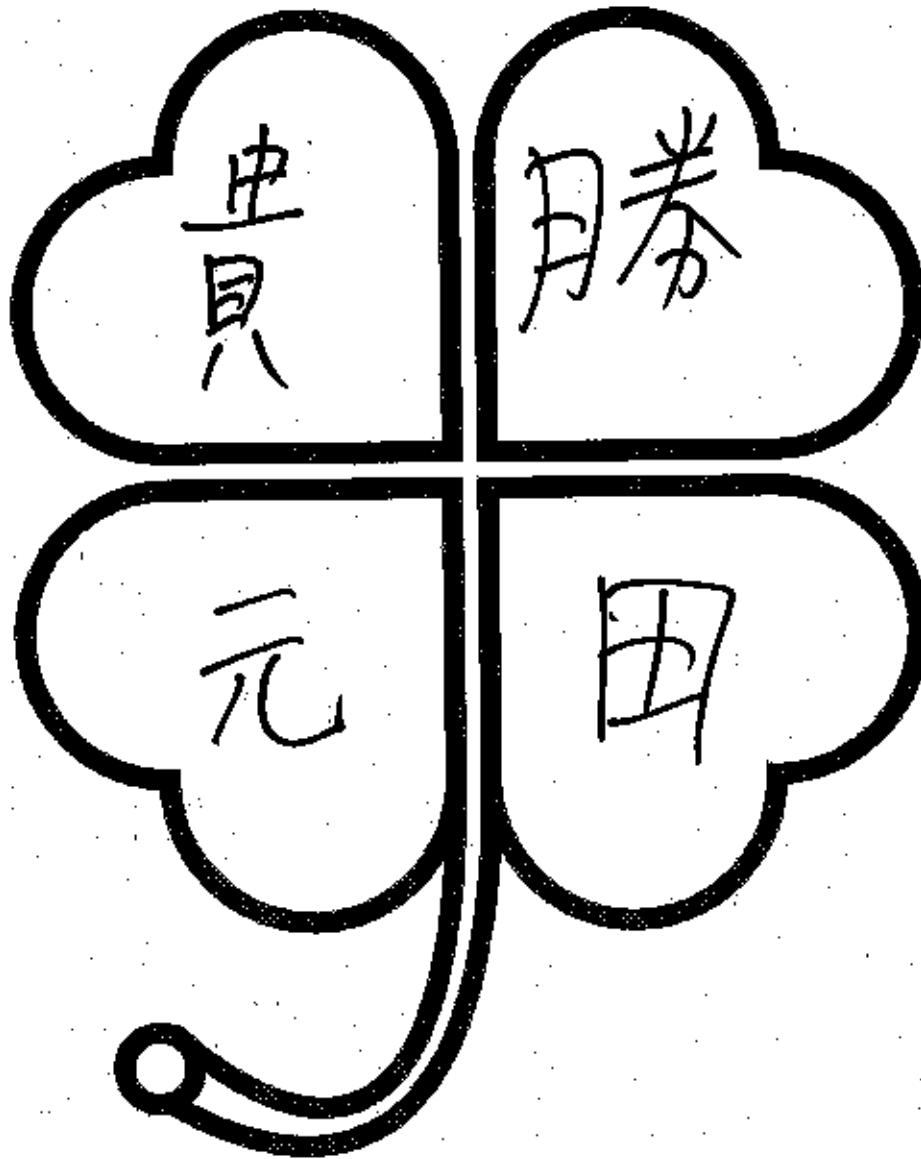
黒滝尚矢

川田将司

山谷慎治

原田信史





つがる農村青少年クラブ機関誌

## なandわ

11月号 第465号

発行日 2023年11月17日 第1版第1刷

編集人 三上 統史

発行人 高橋 佑弥

発行所 つがる農村青少年クラブ

© Tsugaru Four H Club 2022

〒038-3146 青森県つがる市木造桜木9-1

西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室分室内

TEL:0173-42-2222 FAX:0173-42-2272

なandわHP <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ni-nosui/seihokunourin-ninaite.html>

後援 西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室分室

定価 時価